



平成 30 年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
 代表者名 取締役社長 大澤 正典
 (コード番号 4828 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 片山 博
 電 話 03-3510-1600

平成 31 年 3 月期 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 8 月 2 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)の業績予想および平成 30 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期の 1 株当たり配当予想につき、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,900	420	410	260	47.57
今回修正予想 (B)	7,100	500	490	310	56.30
増減額 (B - A)	200	80	80	50	
増減率 (%)	2.9%	19.0%	19.5%	19.2%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	6,293	103	102	64	10.71

(2) 通期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,900	800	770	500	91.48
今回修正予想 (B)	14,700	880	870	550	97.37
増減額 (B - A)	800	80	100	50	
増減率 (%)	5.8%	10.0%	13.0%	10.0%	
(ご参考) 前期実績(平成 30 年 3 月期)	13,479	757	722	484	80.99

(注) 前回発表予想の 1 株当たり四半期純利益および 1 株当たり当期純利益は、平成 30 年 9 月 11 日に第三者割当により処分した自己株式 30 万株の影響が考慮されておられません。

(3) 連結業績予想修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、下期に売上計上予定であった案件の一部前倒しが計画に比し進行する見込みとなったほか、上期に発生予定であった販売費及び一般管理費の一部が下期発生となることから、売上高7,100百万円（前回業績予想比200百万円増）、営業利益500百万円（前回業績予想比80百万円増）、経常利益490百万円（前回業績予想比80百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益310百万円（前回業績予想比50百万円増）となる見込みです。

通期の業績予想につきましては、システムサポート事業を展開する連結子会社の業績が、利益面において計画を大きく上回る見込みです。一方、下期の売上計上予定案件の採算性は、総じて上期売上計上案件ほどには高くない見込みであり、また、下期において販売費及び一般管理費が増加する見込みです。売上高14,700百万円（前回業績予想比800百万円増）、営業利益880百万円（前回業績予想比80百万円増）、経常利益870百万円（前回業績予想比100百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円（前回業績予想比50百万円増）となる見込みです。

2. 平成31年3月期 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,800	380	250	45.74
今回修正予想 (B)	7,000	460	300	54.49
増減額 (B - A)	200	80	50	
増減率 (%)	2.9%	21.1%	20.0%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	6,176	228	152	25.34

(2) 通期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,700	790	530	96.97
今回修正予想 (B)	14,400	810	530	93.83
増減額 (B - A)	700	20	0	
増減率 (%)	5.1%	2.5%	0.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	13,219	778	526	87.97

(注) 前回発表予想の1株当たり四半期純利益および1株当たり当期純利益は、平成30年9月11日に第三者割当により処分した自己株式30万株の影響が考慮されておりません。

(3) 個別業績予想修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由により、売上高7,000百万円（前回業績予想比200百万円増）、経常利益460百万円（前回業績予想比80百万円増）、四半期純利益300百万円（前回業績予想比50百万円増）となる見込みです。

通期の業績予想につきましては、下期の売上計上予定案件の採算性は、総じて上期売上計上案件ほどには高くない見込みであり、また、下期において販売費及び一般管理費が増加する見込みです。売上高14,400百万円（前回業績予想比700百万円増）、経常利益810百万円（前回業績予想比20百万円増）、当期純利益は前回業績予想と同額の530百万円となる見込みです。

3. 平成 31 年 3 月期 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 30 年 5 月 10 日 公 表)	12 円 00 銭	13 円 00 銭	25 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	13 円 00 銭 (+ 1 円 00 銭)	13 円 00 銭	26 円 00 銭 (+ 1 円 00 銭)
当 期 (予 定) (平成 31 年 3 月期)	13 円 00 銭	13 円 00 銭	26 円 00 銭
前 期 実 績 (平成 30 年 3 月期)	11 円 00 銭	14 円 00 銭	25 円 00 銭

(注) 中間配当の額および支払開始日は、第 2 四半期決算に関する取締役会で正式に決議する予定です。

(2) 修正の理由

当社は、当社を取り巻く事業環境の見通し、業績見込み、当社の財務体質等を総合的に勘案して、株主への利益還元に努めております。

株主還元は、配当金の支払いにより行う方針であり、安定的な配当の継続に努めるとともに、連結配当性向が中長期的に 30%を上回るよう努めることを基本的な方針としております。

平成 31 年 3 月期の中間配当予想につきましては、上記の基本的な方針に基づき、直近の中間配当予想 1 株につき 12 円に対し 1 円増配し、1 株につき 13 円に修正いたします。

以 上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。